

平成27年度大阪版健康・栄養調査について

1 趣 旨

- ・厚生労働省は、国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基礎資料を得るために、毎年国民健康・栄養調査を実施しているが、この調査における本府内の標本数は、通常年 23 単位区・約 900 名、拡大年で 20 単位区・約 800 名と少なく、府民の世代別分析を行うことが難しい。
- ・高校卒業とともに食生活がおろそかになりやすいと推定されるが、その変化を実証するための高校生の食生活の実態が把握できていない。
- ・このため、平成 27 年度に「大阪版健康・栄養調査」を実施し、大阪府民の栄養摂取状況および生活習慣等の実態を把握し、課題を明らかにすることとした。

2 対象と調査内容、調査実施状況

	① 成人	② 高校生
調査時期	平成 27 年 11～12 月	平成 28 年 2 月
調査対象	平成 27 年国民生活基礎調査で設定された府内 85 地区から無作為抽出した 50 地区 88 単位区内、該当世帯の 18 歳以上 (平成 27 年 11 月 1 日現在の年齢)	府内公立高校 ※府域 4 ブロックから各 1 校抽出 約 400 名
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・BDHQ（簡易型自記式食事歴法質問票） ・食育関連アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育関連アンケート
実施状況	対象世帯数 1,564 世帯 実施世帯数 958 世帯 (61.3%) 実施者数 BDHQ 1,851 人 アンケート 1,858 人	対象校数 府内公立高校 4 校 実施者数 555 人

3 調査内容・調査結果、調査実施の検討体制

(1) 大阪版健康・栄養調査検討 P T

- ・対象抽出方法、調査内容等について検討。
※学識経験者、保健所管理栄養士、府庁医師 等

(2) 大阪版健康・栄養調査解析検討会

- ・調査結果の解析、検討。
※学識経験者、大阪府栄養士会会長、大阪がん循環器病予防センター医師、保健所長、保健所管理栄養士、府庁医師 等

4 今後の予定

結果の公表

平成 28 年度